

無料で使えるMQTTサービス EMQX Serverless について

2025.12.01

EMQX Serverless は

(1) ユーザー名とパスワード認証、TLS/SSL による認証などの MQTT の認証方法を使用できるため安全です。

(2) 1 か月あたり100万「接続分」の無料割当量があり、これ以内であれば無料で使用できるので、小規模な MQTT の利用であれば無料で使用できます。

1. サービスを利用するためには、下記のURLにアクセスします
<https://www.emqx.com/ja/cloud/serverless-mqtt>

2. ログイン画面になります

DATA SHEET Next-Gen MQTT Platform for IoV and Automotive Innovation →

EMQ プロダクト 料金 ソリューション リソース 会社

検索 ログイン ダウンロード お問い合わせ →

EMQX Serverless

サーバーレスのMQTTサービスを無料で開始

快速導入により、1ヶ月あたり100万「接続分」の無料割当量を得られます。さらに従量制料金モデルでコストを最小限に抑えることができます。

無料開始 → お問い合わせ →

「ログイン」をクリック

5s

EMQX Platform Serverless

3. 新規に利用するために、ログイン情報を入力する

「名前」と「姓」を入力する

「メールアドレス」を入力する
(Gmailがいいかも)

「パスワード」を入力する(半角英数の2種類を使う)

「会社」名を入力する

「国」は Japan を選ぶ

無料トライアル EMQX Platform [ログイン](#)

GitHub でログイン

Google でログイン

または

* 名前

* 姓

* メールアドレス

* パスワード

* 会社

* 国または地域

+81

電話番号

[利用規約](#) および [プライバシーポリシー](#) を閲覧して同意します

トライアル開始

EMQX Platform

フルマネージド型 MQTT メッセージ
ングクラウドサービス



Serverless タイプでは、毎月の無料割当量を
提供します

専用タイプ 1 4 日間の無料トライアル

クレジットカード不要

- 大規模 IoT デバイスへの接続
- IoT データとクラウドサービスの統合
- どこでも実行可能で、海外進出を支援


「電話番号」を入力する
(携帯電話番号にする)

すべてを入力したら「トライアル
開始」をクリックする

4. 登録したメールアドレスにアクティブ化メールが届くので確認する

登録を完了するには、メールボックスのアクティブ化メールを確認してください。

戻る

 EMQX Platform

フルマネージド型 MQTT メッセージクラウドサービス



Serverlessタイプでは、毎月の無料割当量を提供します

専用タイプ 1 4 日間の無料トライアル

クレジットカード不要

- ✔ 大規模 IoT デバイスへの接続
- ✔ IoT データとクラウドサービスの統合
- ✔ どこでも実行可能で、海外進出を支援

5. 登録したメールアドレスを開くと以下のメールが届いています




6. ログイン画面になるので、登録したメールアドレスとパスワードを入力します


ログイン画面のURLは以下です

<https://accounts.emqx.com/ja/signin?continue=https://cloud-intl.emqx.com/console/>

ログイン

アカウントはまだ持っていませんか。 [登録](#)

 GitHub でログイン

 Google でログイン

または

*メールアドレス

*パスワード
.....

[パスワードを取り戻す](#)

ログイン

登録した「メールアドレス」を入力する

登録した「パスワード」を入力する

「ログイン」をクリックしてログインする

7. 使用するEMQX Platformを設定する

「Serverlessタイプ」をクリックして選択する

EMQX Platform

デプロイメント / 新規デプロイメント

デプロイメント サバアカウント 料金 作業帳票 ヘルプ

バージョンの選択

機能の詳細を確認

Serverless タイプ

すぐに利用可能なスケラブルで安全なサーバーレス MQTT ブローカー。

- 最大 1,000 セッション
- 従量課金制
- 無料枠内では完全無料
- データ統合

専用タイプ

専用のクラウド VPC 環境でフルマネージドされた MQTT ブローカー。高度な機能備えた専用タイプクラスターは、あらゆる規模のビジネスに理想的なエンタープライズな MQTT サービス。

- 時間制金額 \$0.36 からスタート
- VPC ピアリングをサポート
- 40 以上の即時設定できるデータ統合
- 24 時間 365 日のエキスパートサポート

BYOC タイプ

(独自のクラウド環境にサービスを導入)

EMQX チームがフルマネージドで運用する、顧客専用のクラウド上の EMQX クラスターをホストします。運用や保守の手間が不要で、オンプレミス環境でのセキュリティを最大限に活かせる EMQX クラスターを提供いたします。

- 顧客独自のクラウドにあるエンタープライズ EMQX サービス
- カスタマイズ可能な MQTT サーバー
- EMQX チームによるフルマネージドサービスを提供
- 24 時間 365 日のモニタリングとエキスパートサポート

リージョン

North America Europe **Asia-Pacific**

「リージョン」(地域) は Asia-Pacific を選ぶ

仕様

1,000 Sessions / 1,000 TPS

料金 & 無料枠

従量課金制	毎月の無料枠
接続料金: \$2.00 / 100 万の「接続分」	100 万接続分 (接続計算単位)
トラフィック料金: \$0.15 / GB	1 GB (トラフィック用)
データ統合: \$0.25 / 100 万回のルールアクション	100 万ルールアクション (データ統合用)

EMQX Serverless Usage Terms を確認のうえ、同意いたします

今すぐ導入 [Ask AI](#)

概要

課金

接続料金: \$2.00 / 100 万の「接続分」
トラフィック料金: \$0.15 / GB
データ統合: \$0.25 / 100 万回のルールアクション

無料枠: 100 万接続分 (接続計算単位)
1 GB (トラフィック用)
100 万ルールアクション (データ統合用)

消費限度: \$0.00

構成情報 使用制限 稼働率 SLA

● 実装や使用パターンによって実際の容量は異なるため、使用制限に付いているアスタリスク (*) はベンチマーキングに基づくおおよその値です。
[詳細はこちら](#)

*最大接続数: 1,000
*最大 TPS: 1,000
*最大ルールアクションレート: 1,000 / s
最大認証エントリ数: 2,000
最大承認エントリ数: 2,000

8. 使用する消費限度額を設定します

料金 & 無料枠

従量課金制

接続料金：	\$2.00 / 100 万の「接続分」 ^②
トラフィック料金：	\$0.15 / GB
データ統合：	\$0.25 / 100 万回のルールアクション

毎月の無料枠^②

100 万接続分（接続計算単位） ^②
1 GB（トラフィック用）
100 万ルールアクション（データ統合用）

消費限度額^②

無料枠を超えるとデプロイメントが停止する場合があります（支出上限を 0 に設定した場合）。デプロイメントを作成した後に支出上限を変更することもできます。支出上限を 0 に設定すると、月額費用をコントロールできます。0 の支出上限は、無料枠のみを利用したいことを意味します。

− 0 + 月間最高消費 (\$)

デプロイメント名 & プロジェクト

デプロイメント名^②

kashi1

所属プロジェクト^②

Default Project

● 実装や使用パターンによって実際の容量は異なるため、使用制限に付いているアスタリスク (*) はベンチマーキングに基づくおおよその値です。

[詳細はこちら](#)

*最大接続数： 1,000

*最大 TPS： 1,000

*最大ルールアクションレート： 1,000 / s

最大認証エントリー数： 2,000

最大承認エントリー数： 2,000

単一クライアントの最大サブスクリプション数： 10

サブスクライブされたトピックの最大トピックレベル数： 10

コネクター（データ統合）の制限： 2

ルール（データ統合）の制限： 4

各ルールに所属のアクション： 1

最大メッセージサイズ： 1 MB

1. 「月間最高消費」は 0 にする
→ 無料枠のみ利用することを意味します

3. チェックボックスにチェックを入れる

2. 「デプロイメント名」を入力する
→ 例として **kashi1** としました

4. 「今すぐ導入」をクリックする

EMQX Serverless Usage Terms を確認のうえ、同意いたします

今すぐ導入

[? Ask AI](#)

9. Default Projectを確認する (1)

プロジェクト [すべてを表示](#)

+ プロジェクトの新規作成

Default Project 1

Deployments not associated with any projects

Default Project

Deployments not associated with any projects

デプロイメント: 1 実行中: 0 実行停止: 0

専用タイプ: 0 Serverless タイプ: 1 BYOC タイプ: 0

デプロイメント

+ 新規デプロイメント

Serverless タイプ | 従量課金

名称: kashi1

● 実行中

地域:

Asia-Pacific (Google Cloud)

作成時間:

2025-08-02 11:49

最大接続数:

1000

EMQX バージョン:

v5

1. デプロイメントの名称が、例として入力した kashi1 になっていますね

2. デプロイメント (Serverlessタイプと書いてある) の枠内をクリックする

9. Default Projectを確認する (2)

EMQX Platform デプロイメント サブアカウント 料金 作業帳票 ヘルプ

Default Project / kashi1

名称: kashi1 Serverlessタイプ (支出限度額: \$0.00)

停止 設定

インスタンス状態
● 実行中
作成日時は 2025.08.02 11:49

接続数
0 / 1000

TPS Pub/Sub TPS
0 / 1000

「接続分」数
0
毎月 100 万セッション分 (無料枠)、無料枠を超えると百万セッション分ごとに \$2.00 ががかかります。

トラフィック (GB)
0
毎月 1 GB のトラフィック (無料枠)、無料枠を超えた場合は GB ごとに \$0.15 ががかかります。

ルールアクション
0
毎月 100 万ルールアクション (無料枠)、無料枠を超えた場合は百万ルールアクションごとに \$0.25 ががかかります。

MQTT 接続情報

接続先: [redacted]

MQTT over TLS/SSL ポート: 8883

WebSocket over TLS/SSL ポート: 8084

CA 証明書: CA 証明書有効期限: [redacted]

デプロイメント API キー

API アドレス: [redacted]

+ 新規アプリ

Ask AI

MQTT接続情報が表示されるので確認します

9. Default Projectを確認する (3) MQTT接続情報の確認

MQTT 接続情報

接続先：

MQTT over TLS/SSL ポート： 8883

WebSocket over TLS/SSL ポート： 8084

CA 証明書： [↓](#) CA 証明書有効期限：2031.11.10

「接続先」はマイコン、スマホのクライアントアプリに書き込む、MQTTブローカーのアドレスです

MQTT Serverless で使用できるポートはこの2つのポートです
マイコンのMQTTクライアントアプリでは 8883 (MQTT over TLS/SSL) を使用します

TLS/SSL 認証で使う証明書をここからダウンロードできます
ダウンロードした証明書内の文字列をマイコンのクライアントアプリに貼り付け使用します

9. Default Projectを 確認する (4)

ダウンロードした
TLS/SSL 証明書です

有効期限 2006/11/10 ~ 2031/11/10



-----BEGIN CERTIFICATE-----

```
MIIDrzCCApegAwIBAgIQCDvgVpBCRRgHdWrJWZHHSjANBgkqhkiG9w0BAQUFADBh
MQswCQYDVQQGEwJVUzEVMBMGA1UEChMMRGlnaUNlcnQgSW5jMRkwFwYDVQQLExB3
d3cuZGlnaWNlcnQuY29tMSAwHgYDVQQDEXdEaWdpQ2VydCBHbG9iYWwgUm9vdCBD
QTAEFw0wNjExMTAwMDAwMDBaFw0zMTEwMTAwMDAwMDBaMGExCzAJBgNVBAYTAiVT
MRUwEwYDVQQKEwxEaWdpQ2VydCBJbMxGTAXBgNVBAsTEHd3dy5kaWdpY2VydC5j
b20xIDAeBgNVBAMTF0RpZ2lDZXJ0IEEdsb2JhbCBSb290IENBMIIBljANBgkqhkiG
9w0BAQEFAAOCAQ8AMIIBCgKCAQEAA4jvhEXLeqKTTTo1eqUKKPC3eQyaKI7hLOllsB
CSDMAZOnTjC3U/dDxGkAV53ijSLdhwZAAIEJzs4bg7/fzTtxRuLWZscFs3YnFo97
nh6Vfe63SKMI2tavegw5BmV/Si0fvBf4q77uKNd0f3p4mVmFaG5clzJLv07A6Fpt
43C/dxC//AH2hdmoRBBYMql1GNXRor5H4idq9Joz+EkIYlvUX7Q6hL+hqkpMft7P
T19sdl6gSzeRntwi5m3OFBqOasv+zbMUZBFHWymeMr/y7vrTC0LUq7dBMtoM10/4
gdW7jVg/tRvoSSiicNoxBN33shbyTApOB6jtSj1etX+jkMOvJwIDAQABo2MwYTAO
BgNVHQ8BAf8EBAMCAYYwDwYDVR0TAQH/BAUwAwEB/zAdBgNVHQ4EFgQUA95QNVbR
TLtm8KPiGxvDI7I90VUwHwYDVR0jBBgwFoAUA95QNVbRTLtm8KPiGxvDI7I90VUw
DQYJKoZIhvcNAQEFBQADggEBAMucN6pIExIK+t1EnE9SsPTfrgT1eXkloyQY/Esr
hMAtudXH/vTBH1jLuG2cenTnmCmrEbXjcKChzUylmZOMkXDiqw8cvpOp/2PV5Adg
06O/nVsJ8dWO41P0jmP6P6fbtGbfYmbW0W5Bjflttep3Sp+dWOlrWcBAI+0tKIIF
PnIUkiaY4IBlqDfv8NZ5YBberOgOzW6sRBc4L0na4UU+Krk2U886UAb3LujEV0Is
YSEY1QSteDwsOoBrp+uvFRTp2lnBuThs4pFsiv9kuXclVzDAGySj4dzp30d8tbQk
CAUw7C29C79Fv1C5qfPrmAESrcilxpg0X40KPMbp1ZWVbd4=
```

-----END CERTIFICATE-----

9. Default Projectを確認する (5)

EMQX Platform

Default Project / kashi1

名称: kashi1 Serverlessタイプ (支出限度額: \$0.00 ②)

作成日時: 2025.08.02 11:49

「接続分」数 ②

0

毎月 100 万セッション分 (無料枠)、無料枠を超えると百万セッション分ごとに \$2.00 が掛かります。

MQTT 接続情報

接続先: [REDACTED]

MQTT over TLS/SSL ポート: 8883

WebSocket over TLS/SSL ポート: 8084

左端の「アクセス制御」の右のVをクリックします

EMQX Platform

Default Project / kashi1

「認証」が現れるのでクリックします

認証

アクセス承認

ブラックリスト

監視

データ統合

ログ

オンラインデバッグ

クライアント接続ガイド

設定

10. MQTTクライアントアプリが認証用に設定する「ユーザー名」と、「パスワード」を入力します 1

「認証」をクリックします。EMQX Serverless を使ってMQTTの通信を行うデバイスのクライアントアプリに設定した「ユーザー名」と「パスワード」を登録します

EMQX Platform

Default Project / kashi1

デプロイメント サブアカウント 料金 作業帳票 ヘルプ

概要

アクセス制御

認証

アクセス承認

ブラックリスト

監視

データ統合

ログ

オンラインデバッグ

クライアント接続ガイド

設定

認証 ?

ユーザー名

ユーザー名	操作
データなし	

クライアントアプリが認証用に使用する「ユーザー名」と「パスワード」を入力する画面になります
(注意) このスライドの3ページ目で設定したログインID, パスワードとは違います。ここで設定中のMQTTサービス EMQX Serverless を使って MQTT による通信を行うマイコンやスマホのMQTTクライアントアプリに、使用者が設定するユーザー名とパスワードのことです

「追加」をクリックします

10. MQTTクライアントアプリが認証用に設定する「ユーザー名」と「パスワード」を入力します 2

例として、system としました

例として、seigyō としました

「ユーザー名」欄にユーザー名を、「パスワード」欄にパスワードを半角英数記号を用いて入力してから「確認」をクリックします。
使用するマイコン、スマホのクライアントアプリに設定したユーザー名とパスワードと同じにする必要があります。

1 1. 認証用に設定した「ユーザー名」を確認する 1

EMQX Platform

デプロイメント サブアカウント 料金 作業帳票 ヘルプ

Default Project / kashi1

概要
アクセス制御
認証
アクセス承認
ブラックリスト
監視

認証 ?

ユーザー名

ユーザー名	操作
system	編集 削除

インポート + 追加

1. 設定したユーザー名が表示されます

2. また「追加」をクリックして、使用するマイコン、スマホのクライアントアプリに設定したユーザー名とパスワードを登録しましょう

1 1. 認証用に設定した「ユーザー名」を確認する 2

例として4つのユーザー名（パスワードも）を「認証」に登録してみました

認証 ?



ユーザー名	操作
system	
subsystem	
smaph	
remote_switch	

1 1. 認証用に設定した「ユーザー名」を確認する 3

認証 ②

ユーザー名	🔍	インポート	+ 追加
ユーザー名	操作		
system	✏	🗑	
subsystem	✏	🗑	
smaph	✏	🗑	
remote_switch	✏	🗑	

「認証」への登録が完了したデバイスは、MQTTによる通信ができる状態になります。

早速、MQTTを試してみてください！

- 次ページ以降の説明は、トピックに対する「アクセス承認」の設定法です。トピック毎に Subscribe / Publish の「許可／拒否」の設定を行いたい方はご覧ください。
- このトピック毎の Subscribe / Publish の「許可／拒否」の設定が不要の方は、最後のページをご覧ください。

1 2. 「アクセス承認」を設定する 1

「アクセス承認」で、トピック毎に Subscribe / Publish の「許可／拒否」の設定を行うことができます

(注意) 「アクセス承認」で Subscribe / Publish の「許可／拒否」の設定を行わないトピックは、Subscribe / Publish は「許可」されます。そのため、**特定のトピックに対し「拒否」したいときに「アクセス承認」で設定します。**（「アクセス承認」はデフォルトでブラックリストモードだからです）

1. 「アクセス承認」をクリックする

EMQX Platform

デプロイメント サバアカウント 料金 作業帳票 ヘルプ

すべてを表示 / Default Project / kashi1

概要

アクセス制御

認証

アクセス承認

ブラックリスト

監視

データ統合

ログ

オンラインデバッグ

クライアント接続ガイド

設定

アクセス承認

認可はクライアントのサブスクリプションおよびパブリッシュの権限を制御します。デフォルトではブラックリストモードです。データセキュリティ要求が高い場合、ホワイトリストモードへの切り替えを推奨します。

クライアント ID ユーザー名 すべてのユーザー

ユーザー名 ②

ユーザー名

ユーザー名	権限総数	操作
データなし		

2. 「ユーザー名」タブをクリックする

3. 「追加」をクリックする

12. 「アクセス承認」を設定する 2

承認情報の追加

1. 「認証」で設定したユーザー名を入力します

* ユーザー名

system

* 権限管理

トピック ?	アクション	許可/拒否	追加
データなし			

キャンセル 確認

2. 「追加」をクリックします

12. 「アクセス承認」を設定する 3



1. このユーザー名で使用するトピックを入力します。例として topi を入力しました

2. トピックに対する操作「アクション」を選択します。例として Publish & Subscribe を選択しました。

3. topi による Publish & Subscribe を有効にするとき「許可」を選択します。
topi による Publish & Subscribe を無効にするときは「拒否」を選択します。
今回は「拒否」を選択して無効にします。

4. 「確認」をクリックします

12. 「アクセス承認」を設定する 4

EMQX Platform デプロイメント サバアカウント 料金 作業帳票 ヘルプ

すべてを表示 / Default Project / kashi1

概要

アクセス制御

認証

アクセス承認

ブラックリスト

監視

データ統合

ログ

オンラインデバッグ

クライアント接続ガイド

設定

アクセス承認

認可はクライアントのサブスクリプションおよびパブリッシュの権限を制御します。デフォルトではブラックリストモードです。データセキュリティ要求が高い場合、ホワイトリストモードへの切り替えを推奨します。

クライアント ID **ユーザー名** すべてのユーザー

ユーザー名 ?

ユーザー名

ユーザー名	権限総数	操作
> system	1	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>

ユーザー名に先ほど入力した system が表示されます
左側の > をクリックします

12. 「アクセス承認」を設定する 5

ユーザー名 ?

system	Q	インポート	+ 追加
ユーザー名	権限総数	操作	
system	1	✎ ㊄	
トピック	アクション	許可/拒否	
topi	Publish & Subscribe	拒否	

- 先ほど入力した「トピック」に **topic**、「アクション」に **Publish & Subscribe**、「許可/拒否」に「**拒否**」が表示され入力を確認できます。
この場合、トピック **topic** による **Publish & Subscribe** はできなくなります。
- 「アクセス承認」で設定していないトピックは Publish & Subscribe 共に許可されます（デフォルトでブラックリストモードなので）

13. ログアウトします

1. 右上のアイコンをクリックします

EMQX Platform

デプロイメント サブアカウント 料金 作業帳票 ヘルプ C

すべてを表示 / Default Project / kashi1

概要

アクセス制御

認証

アクセス承認

ブラックリスト

監視

データ統合

ログ

オンラインデバッグ

クライアント接続ガイド

設定

アクセス承認

認可はクライアントのサブスクリプションおよびパブリッシュの権限を制御します。デフォルトではブラックリストモードです。データセキュリティ要求が高い場合、ホワイトリストモードへの切り替えを推奨します。

クライアント ID ユーザー名 すべてのユーザー

ユーザー名 ②

ユーザー名

ユーザー名	権限総数	操作
> system	1	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>

C

操作ログ

プラットフォーム API キー

個人情報

パスワードの変更

二段階認証

シングルサインオン

日本語 >

ログアウト

2. 「ログアウト」をクリックします